つなぐ

令和7年
6月 2日

NO.1
不定期発行

学校と進路、地域、家庭のつながりに関することをお伝えしている『つなぐ』も発行から3年目を迎えました。今年度も、進路・特別支援コーディネーターからの情報発信を中心に、この学校からも続く人生にむけて、知ってほしいこと、大事にしていきたいことなどについてお伝えしていきます。私たち進路・特別支援コーディネーターの業務は普段の学校生活では見えづらい部分もあると思いますので、どのような仕事を行っているのかの報告や、仕事を通して知ったこと、学んだことを、日常生活を彩るエッセンスとしてお伝えしていきたいと考えていますので、ぜひお楽しみください。

進路：伊藤

地域開拓コーディネーター：加賀谷

特別支援教育コーディネーター
古謝

スクールソーシャルワーカー：菱沼

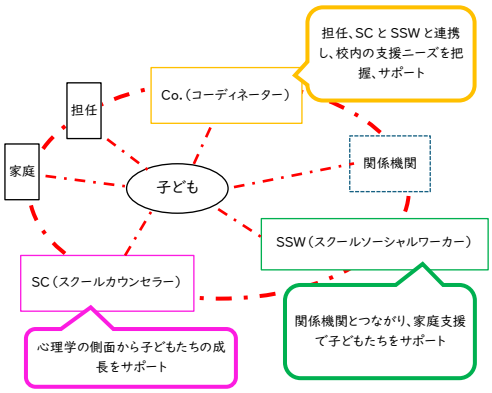
スクールカウンセラー
青島

特別支援教育コーディネーターより

「つながり」をつくる

こんにちは。特別支援教育コーディネーターの古謝 美沙紀（こじゃ みさき）です。この役割をいただいて2年目を迎えました。主な仕事の一つに、学校に通う子どもたちが安心して自分の力を磨いていけるような環境や人をつなげる関係性づくりがあります。今年は【「つながり」をつくる】ということをテーマにしています。子どもたちが自信をもち、楽しさを味わいながら、自分らしく輝いて生活していけるような“場”や“心”の「つながり」をつくることを大切に取り組んでいきます。何か気になること、迷っていることなどがありましたらいつでもお話しください。今年度もよろしくお願いいたします。

校内支援体制



本校にはスクールソーシャルワーカー（SSW）、スクールカウンセラー（SC）が本校に配属されており、月2～3回程来校しています。巡回日には、子どもも保護者も直接お話や相談をすることができます。スクールカウンセラーは子どもを心理学の面から見立て、心との付き合い方などの相談について聞くことができる専門家です。スクールソーシャルワーカーは家庭に関する相談や外部機関との連携の専門家で学校の知識がある社会福祉士です。外部の支援機関についても相談できます。子どもにとって、将来を生きていく中で「頼れる相手・頼れる場所」は大きな財産になります。悩みを聞いてほしい、困っている・気になることがあるけれど相談する場所が分からないときなど、専門家とお話しできる時間を調整しますので、担任や特別支援教育コーディネーターにご相談ください。

進路より

「学校」から「社会」へつなぐ

進路専任の伊藤 巧（いとう たくみ）です。在学中の児童生徒の進路に関すること、卒業生への支援等を担当します。

学校を卒業すると子どもたちは社会に出ていきます。将来への希望や不安…色々な思いを抱きながらも成長し大人になっていきます。保護者の方々にも、我が子は「どのような生活をし、どのような仕事をするのだろうか」、「今のままで自立できるのだろうか」など、色々な心配事があることと存じます。本校の進路指導で大切にしていることは、【自己選択・自己決定】です。成長の中で、自己理解を深め、社会を知り、自分の生活や仕事について考える…そんな経験の中で、自分に合った社会参加の仕方を見つけて欲しいと思っています。決して「すべて自分で決めなさい！」ではありません。将来の幸せってなにか、どのような選択肢があるのか、夢の実現には何が必要か、そもそも実現可能なのか、子ども一人で考えるのは難しいことを、本人の気持ちに寄り添いながら、ご家庭と学校で連携して教え、本人の選択を支えていければと思っております。

出張等で外出していることも多いですが、進路に関して何か気になること等ありましたら、いつでもお声がけください。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

学校ホームページにも、本校の進路指導やキャリア教育について掲載しています。
これまでの卒業生の進路先等もありますので、是非一度ご覧ください。

地域コーディネーターより

「学校」と「地域」をつなげる

地域開拓コーディネーターの加賀谷聖（かがやたかし）です。昨年度から始まった地域とのつながりの中で、昨年の1年間は『知』を目標に活動しました。なぜ、『知』なのか。それは地域の方々と話していると、この学校を「知らない」という人が多く、近隣に長く住んでいる人からも「名前は聞いたことあるけど、場所はわからない」という声もありました。そこで、本校が地域と共に活動していく中で、まずは、この学校のことを『知ってもらう』そしてこちらも、地域のことを『知る』ために色々な活動をしてまいりました。例えば小学部は地域の方と一緒にゴミ拾い、美容院に行って髪を切ってもらう。中学部は運動会のポスターを作成し、自分たちで掲示のお願いに行きました。高等部は弘明寺商店街のイベント（ハロウィン）に向けて商店街の方と一緒に準備を進め、当日は有志でスタンプラリーの運営補助をしたり、縁日を開いたりしました。また、弘明寺商店街のPEACH COFFEE さんの依頼作業を受け、コーヒーの箱詰めを行いました。地域の授業を行うことで学校の中だけでは経験できない「人との関り」や「地域の問題」を発見し、その解決を図っていけるような学習活動を考え、そのプロセスを通じて成長していってほしいと考えております。

自分たちが身につけた知識や経験を実社会でどう活用できるか、その生かし方を子どもたちがマスターしていけるといいですね！ 今年度は色々な方々との関わりを広げていきたいと思います。テーマは『関』です！

一年間どうぞよろしくおねがいします。

FUSHINYAN1234

子どもたちの地域の活動が見られます